

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部2年 2部3年	保育内容・人間関係	近内 愛子	
サブタイトル	人間関係のねらいと内容の理解	単位数	1
授業形態	演習		
開講時期	前期	出席要件	4／5以上
到 達 目 標			
1. 領域「人間関係」のねらい及び内容 (1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本、領域「人間関係」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 (2) 領域「人間関係」のねらい及び内容を理解し、人間関係形成の基礎となる力を育み小学校以降の教科等とのつながりを理解している。 2. 領域「人間関係」の指導方法及び保育の構想 (1) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場면을想定した保育を構想し、指導案を作成することができる。 (2) 事例を通して様々な人間関係の場面での指導が分かり、実践に活かすことができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
・ 幼児教育に対する情熱・使命感・責任感をもち、幼児の発達に即した援助を行うための専門的知識を習得する。 ・ 協働学習を通して、豊かな人間性を身につける。 ・ カリキュラムマップの「保育を構築する」に位置づいており、保育内容の中核をなす科目として確かな学びの構築を図る。			
授 業 の 方 法			
1. 幼稚園教育要領及び保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領から理論を学ぶとともに、事例や映像を通して、グループ協議や発表など、アクティブ・ラーニングの授業展開により対話的・主体的に学ぶ。 2. 実習体験を有効に活用し、観察した事例から、幼児同士、保育者との関わり等人間関係の視点で分析・考察し、指導法について学ぶ。 3. ノート、ワークシートを活用し、予習、復習、本時の振り返り等、学習を深める。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『対話的・深い学びの保育内容 人間関係』塚本美知子編著 萌文書林 2018年 参考図書：『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』チャイルド本社 2017年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、説明できる。 2. 乳幼児の人間関係の発達と援助のポイントを説明できる。 3. 人間関係の基本的な内容と、発達を踏まえた適切な援助について事例を用いて説明できる。 4. 「人間関係」に関わる指導場면을想定した保育を構成し、指導案を作成できる。		定期試験 (60) % ノート、ワークシート レポート、指導案、発表 (40) %	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1. テキストや参考書、ノートは毎回持参すること。 2. グループ討議では積極的に発言をすること。 3. グループ発表では他グループの意見を傾聴し、学び合いが深まるよう主体的に取り組むこと。 4. 幼稚園教諭としての長年にわたる勤務経験、園長・教頭経験を活かして授業を展開し、実践的な保育方法等を学びます。			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1 回	<ガイダンス>と<領域「人間関係」の意義> ・授業の目的、内容、進め方などを知る ・領域「人間関係」の意義を理解する	領域「人間関係」の基礎知識の理解
2 回	<領域「人間関係」のねらい> ・子どもを取り巻く環境、家庭生活の変化と課題について ・ねらいの意味とねらいを達成するための援助について	現状と課題の理解と考察力 ねらいの意味を理解
3 回	<人間関係と発達①>0 歳児～2 歳児の人との関わり ・0 歳児～2 歳児の人との関わりが育つ過程、援助について ・教材研究及び指導案の作成	人間関係の発達理解 援助のポイント理解 理解力・考察力
4 回	<人間関係と発達②>3 歳児から 5 歳児の人との関わり ・3 歳児～5 歳児の人との関わりが育つ過程、援助について ・教材研究及び指導案の作成	人間関係の発達理解 援助のポイント理解 理解力・考察力
5 回	<人間関係と発達③>愛着の形成 ・愛着の意味と重要性、愛着の形成過程について ・大人との関わりの基本姿勢について	愛着の形成、保育者としての姿勢の理解 理解力・考察力
6 回	<人間関係と発達④>依存と自立 ・依存と自立の関係について ・幼児の自立に向けた保育者の援助について	依存と自立の関係の理解 保育者の援助の理解 理解力・考察力
7 回	<人間関係と発達⑤>自我の芽生え自己主張と自己抑制の視点から ・自我の芽生え、自我の形成について ・自己主張、自己抑制の関係について	自己主張・自己抑制についての理解 理解力・考察力
8 回	<人間関係と発達⑥>コミュニケーション能力の育成 ・乳幼児のコミュニケーション能力の特性について ・コミュニケーション能力を育む援助について	幼児期のコミュニケーション能力の特徴、重要性の理解 理解力・考察力
9 回	<遊びや生活と人間関係①>いざこざの原因 ・実習体験からいざこざの原因、保育者の援助について討議する ・指導案作成及び模擬保育より保育省察	いざこざの実態についての考察 分析力・考察力 協働性・傾聴力
10 回	<遊びや生活と人間関係②>いざこざの意義と援助 ・いざこざの意義を理解する ・援助の方法、学級経営につながる指導法について	いざこざの意義と学級経営につながる指導法の理解 理解力・考察力
11 回	<遊びや生活と人間関係③>共感・思いやり・道徳性の芽生え ・思いやりや道徳性をはぐくむ援助について ・指導案作成及び模擬保育より保育省察	共感、思いやりの気持ちを はぐくむ援助についての理解 理解力・考察力
12 回	<遊びや生活と人間関係④>協同する経験 ・協同の意味、一人一人が活かされる集団について ・協同性を育むための援助について 教材研究及び指導案の作成	協同の意味の理解 互いを認め合う集団づくりを考察 分析力・考察力
13 回	<遊びや生活と人間関係⑤>地域の人との関わり ・地域との交流の意義を理解する ・地域の人々との交流内容や方法、指導法について	子どもを取り巻く人間関係の理解 理解力・考察力
14 回	<遊びや生活と人間関係⑥>人権教育 ・幼児期の人権感覚を育む援助について ・保育者の人権感覚を磨く	人権教育の意義の理解 分析力・考察力 人権意識の向上
15 回	<領域「人間関係」のまとめ>授業の振り返り、 ・領域「人間関係」の確認、保育者の援助のポイント	内容項目の指導について総合的に理解 理解力・考察力
試験	定期試験	

